

“結愛” ～ゆい～

発刊責任
訪問/入室

『通所リハビリテーションスタッフ一同へ感謝の一言』

今回は、通所リハビリテーションを利用されているY様に感想をいただきましたので紹介致します。「わたくしは、後縦靭帯骨化症という病気で手術をしてから右半身に麻痺と激痛が残り、2年程前には蓄積された左足の負担から家の中で転倒し、骨折で入院をしました。独り暮らしのため、今後のことを考えると心身共にとても不安になっていた頃、通所リハビリテーションを勧められて見学をさせてもらいました。今まで利用したことがないので少し困惑しましたが、スタッフや利用者、雰囲気等に好感が持てたので利用できるようにお願いを致しました。通うようになり、スタッフが親身になって悩みに対応してくれ、【リハビリも頑張れば身の回りの事くらいは、自分で出来るようになる】と助言して下された時は、亡き夫が応援してくれているように感じました。現在は来所すると、スタッフ一同が笑顔で出迎えて下さることで気分もリフレッシュする事が出来、他の利用者とも一日陽気に過ごせてとても嬉しく思っています。」と直筆で感想をいただきました。今後も出来る事が増やせるよう関わらせていただきたいと思います。(通所リハビリテーション スタッフ一同)

『通所リハビリイベント～初詣で&おしるこ・甘酒作り～』

2019年、最初のイベントは、【初詣で】と【おしるこ・甘酒作り】を行いました。時季にちなんだ内容だったのでご利用者様は、とても喜んで参加して下さいました。今後ご利用者様に喜ばれる内容を企画して行っていききたいと思います。



『認知症について～症状・対応編～』

今回は認知症の症状である中核症状と周辺症状について、また症状への対応も紹介致します。

【中核症状】

中核症状は、加齢による脳の病的な変化や病気などによる脳の障害により脳の細胞が壊れ、その脳の細胞が担っていた役割が失われることで起こる知的機能の低下を中心とする症状で、記憶力(新しく体験したことを覚える能力)障害、記憶障害、計算障害、見当識(日時や場所、人との関係性などを覚える能力)障害、判断力の低下、実行機能障害、失語、失認、失行があります。

【周辺症状】

周辺症状は、中核症状によって引き起こされる二次的な症状で、不安・抑うつ・物盗られ妄想・せん妄・幻覚などの精神症状や、徘徊・暴力・暴言・介護拒否・睡眠障害・異食などの行動の異常などがあります。

【対応方法】

対応としては、①相手の尊厳を尊重した態度で接すること②出来る事は自分でしてもらう③否定せず行動の背景にある理由を考えるなど、本人に寄り添った対応を心がけ原因を解決できれば、お互いにとってストレスの少ない介護生活につながると考えられます。